

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～23	日 本 史	24～42
世 界 史	44～58	地 理	60～71
数 学	72～77		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

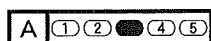
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

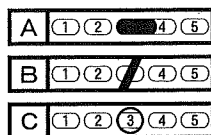
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(数 学)

[I] a を実数の定数とし, $f(x) = 3x^2 - (7a - 1)x + 2a^2 + 3a - 2$ とする。

- (1) $a = 0$ のとき, 2次不等式 $f(x) \leq 0$ を解け。
- (2) 2次方程式 $f(x) = 0$ が正の解と負の解をともにもつような a の値の範囲を求めよ。
- (3) 2次不等式 $f(x) \leq 0$ を解け。

(計算用紙)

数学

〔Ⅱ〕 白球，赤球，黒球がいくつか入っている袋から，次の規則に従って球を取り出すことを，袋の中の球がなくなるまでくり返す。

(i) 第1回目は1個の球を取り出す。

(ii) 第 n 回目に取り出した球の中に白球が含まれていて袋に2個以上の球が残っているときは，第 $(n+1)$ 回目に2個の球を同時に取り出す。それ以外のときは第 $(n+1)$ 回目に1個の球を取り出す。

(iii) 取り出した球は袋に戻さない。

最初に袋に入っている球の個数が次の場合について，最後に取り出した球の中に黒球が含まれている確率を求めよ。

- (1) 白球1個，赤球1個，黒球1個
- (2) 白球1個，赤球2個，黒球1個
- (3) 白球2個，赤球2個，黒球1個

(計算用紙)

数学

〔Ⅲ〕 三角形 OAB において、辺 AB を 1:3 に内分する点を C とおき、辺 OB を 2:1 に内分する点を D とおく。さらに、線分 OC と線分 AD の交点を E とおく。

(1) $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$ とおくとき、 \overrightarrow{OE} を \vec{a} と \vec{b} で表せ。

(2) $OA = \sqrt{3}$, $OB = 2$, $AB = \sqrt{5}$ のとき、三角形 ABE の面積を求めよ。

(計 算 用 紙)





